

ぷらんど

JA全農えひめ情報

■特集

愛媛県でも「JAくらしの宅配便」スタート！

■JA直売所めぐり

彩菜 今治店 ～JAおちいまばり～

10

2012・October



「私たちがお届けしています」



花ちゃん定期便

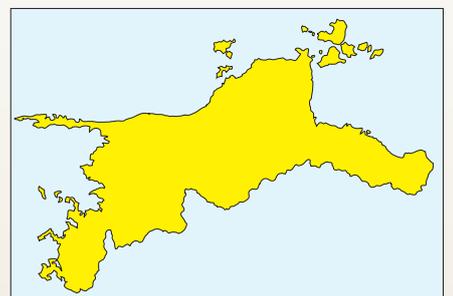
- ①3ヶ月の会員制=3,000円。(1束500円／回×6回配送。税込み)
- ②1回の配送数が4束以下の場合、送料300円／回。5束以上は送料無料。

【申し込み・問い合わせ】

JA全農えひめ花卉センター
Tel.089-984-0633

花ちゃん定期便

(県内全域)



「花ちゃん定期便」は、JA全農えひめが届ける切花の宅配便です。1束500円・3ヶ月の会員制で、県内産を交えて新鮮な季節の花3〜4種類を毎月2回、花束と切花情報・鮮度保持剤をセットにして、定期的に家庭やオフィスに届けるシステムです。

この取り組みは、県内の花の生産・消費拡大とともに、花に親しみゆとりのある生活と花文化の定着を図ろうと、平成元年10月にスタート。ワンコインで鮮度の良い四季折々の花が楽しめる大好評です。最近では、花や緑に親しみ・育てる機会を通して、やさしさや美しさを感じる気持ちや育む「花育」に活用する学校も増えてきています。

さらにボリューム感のある「フラワーキット」(1束1,000円)や、毎週届く(料金別途)コースもあります。
松山市の1世帯あたり切花の消費金額は、47都道府県庁所在都市の中で43番目(年6、143円。平成22年総務省家計調査)。「花ちゃん定期便」で花のある生活を送ってみませんか？

あぐり〜ど

October 2012

CONTENTS

全農グループの経営理念

私たち全農グループは、
生産者と消費者を安心して結ぶ
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

今月の表紙



秋、真っ盛りの栗園で栗拾いを満喫です。大きな栗の木の下に、大きな栗の実がごろごろ。イガの中の栗は靴でイガの端を踏んづけ、火バサミで実を取り出して…。イガは鋭いので気をつけて！

愛媛県の栗生産量は全国第3位。都道府県の秘密を紹介する某番組によると、ちらし寿司に栗が入っているのも愛媛ならではの、なのだから。ビックリ！

●表紙：栗拾い
はら ふみ(イラストレーター)

※「あぐり〜ど」は、「愛媛農業 (Agriculture)」を「リード (Lead) する」という意味と「心一つにする (Agreed)」という意味を込めています。

農の風景Vol.142

花ちゃん定期便 (県内全域)

2

〈特集〉

愛媛県でも「JAくらしの宅配便」スタート！
宅配でお届け、ネットでいつでも注文
できるエコープマーク品宅配システム

6

THE・ねっとわーく

8

ふるさと ESSAY VOL.210

農を通じて命を考える

小山田 憲正さん

10

TOPIC NEWS

14

なんでもBOX

16

私たちがTACです

～JA愛媛たいき 営農部長 祖母井 良明さん～

17

統計BOX

18

JAふるさと自慢Vol.142「直売所めぐり」

彩菜 今治店～JAおちいまばり～

20

READERS通信

NOW NOW COOKING〈今月の素材〉カブ

JA全農えひめ

ホームページ

<http://www.eh.zennoh.or.jp>

■JA全農えひめ「えひめの食」企画

<http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimenosyoku/>

※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。

◆(株)えひめ飲料

<http://www.ehime-inryo.co.jp>

◆JAえひめアイパックス(株)

<http://www.iyokkora.jp/>

◆JAえひめ物流(株)

<http://www.jat-ehime.co.jp/>

◆JAえひめフレッシュフーズ(株)

<http://www.eh.zennoh.or.jp/ja-fresh/>

◆(株)ひめライス

<http://www.himerice.jp/>

◆JAえひめエネルギー(株)

<http://www.ja-ehimeene.co.jp>

宅配でお届け、ネットでも注文 できるエコープマーク品宅配システム

今年10月から、新たな共同購入事業方式として、食と健康応援事業「JAくらしの宅配便」が、県内JAでスタートします。

この事業は、「いつでも注文できるようにしてほしい」「数日で届けてほしい」「品数を増やしてほしい」といった組合員アンケートの声にこたえ、JA全農が利便性の向上とJAグループータルコスト削減をめざし、構築したものです。

今回は、そのしくみをご紹介します。

組合員アンケートにこたえ 開発!

JA全農は、生活組織購買事業の改革の必要性を明らかにするため、組合員・JA役職員の方々にアンケートをとりました。その結果エコープマーク品を中心とした共同購入事業は、全JAで利用意向が強く、

商品の満足度や必要性も高い反面、納品リードタイムの短縮や商品アイテムの豊富さが求められる結果となりました。

「JAくらしの宅配便」はこの結果をうけ、従来の共同購入事業（女性部のチラシ回覧による協同活動、季節商品単一推進等）に改善を加えた新しい事業システムです。

「JAくらしの宅配便」の特徴

ご自宅のパソコンまたは携帯電話のサイトから、24時間、365日注文を受け付け、数日中にご自宅または指定納品先まで配送します。

品数も食料品・日用品・化粧品・農作業衣料品など約1,000アイテムから選ぶことができます。

JAくらしの宅配便

安全・安心にこだわるエコープマーク品を中心とした食料品、日用品、化粧品、衣料品を、ご自宅または指定納品先までお届けいたします。

重たいものでもお届けいたしますので便利ですよ！



欲しいときにすぐ届けてくれるから便利だわ！

時間指定お届けだから好きなときに届くのね！



カATALOGは実施JAに置いております。ご利用の際はお問合せください。



お電話でもパソコンからでもOK!

JAでも代行注文入力を受け付けていますので、PCが無い方やPC操作に不安のある方でも安心してご注文いただけます。



JA独自商品「エコープマーク品」は安全・安心にこだわっています。ぜひ、お試しくださいませ。



インターネット・携帯で注文できるJAの新しい宅配サービス

<http://www.jakurashi.com>

JAくらしの宅配便

検索

(注)当事業は県・JA単位での準備が完了してからのサービス提供となります。ご利用にあたってはJAの当事業の導入が前提となりますので、予めご了承ください。

◆特集:愛媛県でも「JAくらしの宅配便」スタート!



▲オリジナル開発商品「安心・安全」にこだわるエコープマーク品

ご利用にあたっては、「ご利用申込書」をJAへ提出いただき、会員登録が必要です。

パソコンが無い方やパソコン操作に不安のある方でも「JAくらしの宅配便注文書」をご記入いただければJAで代行人力してお届けすることができます。

国産原料優先の 充実アイテムです

商品はJAグループオリジナルブランド「エコープマーク品」や地産地消のJAブランド商品など、国産畜産物の消費拡大をはかるため、国産原材料を優先的に使用したものが中心です。

文があった」「商品の仕方、配送業務がなくなり労力の軽減になった」など好評を得ています。

県内JAへの導入について

愛媛県においても、県域・JA域の在庫・配送など重複していた業務を排除し、JAグループのトータルコストを削減するため、また、共同購入未利用者や未配達地域の組合員の会員化により、サービスの向上や、組織基盤の拡充に貢献するため、平成25年度末までに県下全域に導入を進めていきます。

エコープマーク品の良さを 知っていただくために

現在愛媛県内の共同購入でお届けしているエコープマーク品は約150品目ですが、このしくみの導入により、たくさんの商品を紹介できるようになります。

JA全農えひめ生活資材課では、エコープマーク品の良さを知っていただくため、商品研修や料理講習会の実施を支援していきます。

全国の導入状況

カタログは、食料品・日用品を掲載している総合カタログと、農作業衣料品を掲載しているカタログの2種類(年1回更新)と、愛媛県版チラシを季別で作成します。

この取り組みは、他県でも導入が進められており、平成24年8月末現在、13県、45JAが導入済みで、15万1千人が会員登録しています。導入JAからは、「配送が早くなった」「商品アイテムが増え、組合員から幅広く注

JAくらしの宅配便の主な特徴点

媒体	インターネット+紙
受注頻度	常時(紙媒体は年間)※ 県版チラシは、上期と下期の年2回。
受注期間	365日いつでも可 (システムメンテナンスによる利用休止の場合あり)
注文方法	インターネット・携帯+従来方式
取扱品目数	約1,000品目
お届け日数	受注確定後数日(配送日指定可)
配送方法	宅配便+従来方式
組合員決済	従来方式+代金引換・クレジットカード (お選びいただけるお支払い方法は導入JAにより異なります)

「くらしの宅配便」カタログには、加工食品、お菓子、日用品、農作業衣類まで約1,000アイテムが揃っています



▲ J A くらしの宅配便ホームページより

「J A くらしの宅配便」のご注文は次の3つの方法からお選びいただけます。

①ウェブサイト（インターネット）

<http://www.jakurashi.com>

②携帯サイト（携帯電話）

<http://www.jakurashi.com/m>

③注文書「J A くらしの宅配便注文書」にご記入ください。

注文書によるご注文は、ご利用のJ A 窓口にて承ります。詳しくはご利用のJ A にご確認ください。

◆ J A くらしの宅配便のご利用に関するお問い合わせは、
J A くらしの宅配便事務局 お問い合わせ専用フリーダイヤル

0120-009366

受付時間：9：30～17：00（土・日・祝祭日、年末年始を除く）

THE ねととわーく

「県内産食肉・加工品と乳製品の愛用を！」 農畜産物消費拡大運動展開中！

生活 資材課

J Aグループ愛媛農畜産物消費拡大推進本部は、来年2月末（乳製品は1月末）まで、

消費拡大により、地域農業の振興に寄与することを目的にJ Aグループをあげて毎年取り組んでいます。今年も、県内J A組合員や地域の方々、

「J Aグループ愛媛農畜産物消費拡大運動」に取り組んでいます。この運動は、美味・新鮮・安全な県内産の食肉・加工品と乳製品の

J Aグループ役職員および関係先に利用を呼びかけ、食肉加工品2万セット、乳製品2万セットの取り扱いを目標に運動を進めます。

愛媛の生産者が真心こめてつくりました

美味乳賛 2012

伊予牛「絹の味」鹿毛和牛調ローススライス（鹿毛調）
500g（伊予牛）**8,000円**
※大人4名分（小児半量）※送料別

伊予牛「絹の味」鹿毛和牛調ローススライス（鹿毛調）
500g（伊予牛）**4,600円**
※大人4名分（小児半量）※送料別

伊予牛「絹の味」伊予牛焼肉用カルーセット（賞味）
100g×20個（伊予牛）**4,300円**
※送料別

ふれ愛・媛ポークロース切肉（生肉）
100g×20パック（伊予牛）**2,600円**
※送料別

伊予牛「絹の味」・県内産豚肉を使ったレトルト食品

伊予牛「絹の味」・県内産豚肉の美味しさをいっしょに詰めてお届けします

伊予牛「絹の味」焼豚
100g×20個（伊予牛）**2,470円**
※送料別

伊予牛「絹の味」焼豚
100g×20個（伊予牛）**2,060円**
※送料別

伊予牛「絹の味」焼豚
100g×20個（伊予牛）**2,390円**
※送料別

伊予牛「絹の味」焼豚
100g×20個（伊予牛）**2,200円**
※送料別

伊予牛「絹の味」焼豚
100g×20個（伊予牛）**1,880円**
※送料別

伊予牛「絹の味」焼豚
100g×20個（伊予牛）**2,000円**
※送料別

伊予牛「絹の味」焼豚
100g×20個（伊予牛）**2,230円**
※送料別

2012 農畜産物消費拡大運動 JAグループ愛媛

自然の美味しさを
お届けします。

高品質の生乳から作られた良質な乳脂肪を原料につくられたバター、ミルクで芳醇な味わいのクリームチーズに、新鮮でさわやかな味わいのグリーンヨーグルトと生クリームを加えた贅沢レアチーズケーキ。

R-03 乳製品セット（賞味）**1,800円**
●伊予牛「絹の味」バター（50g×20）
●伊予牛「絹の味」クリーム（50g×2）
●伊予牛「絹の味」レアチーズケーキ（50g×2）
●伊予牛「絹の味」ヨーグルト（50g×2）

単品のコクを活かした濃厚な味のプリンと、本物とおなじの方向を追究したヨーグルトの愛あるバリエーション。

牧場の風

R-04 バリエーションセット（賞味）**2,100円**
●伊予牛「絹の味」バター（50g×1）
●伊予牛「絹の味」クリーム（50g×1）
●伊予牛「絹の味」レアチーズケーキ（50g×1）
●伊予牛「絹の味」ヨーグルト（50g×1）
●伊予牛「絹の味」プリン（50g×1）
●伊予牛「絹の味」ヨーグルト（50g×1）

広島大学歯学部と共同研究。健康な子供の中から見つけた「L8020菌」を使用しています。

R-05 チーズケーキセット（賞味）**1,800円**
●伊予牛「絹の味」バター（50g×1）
●伊予牛「絹の味」クリーム（50g×1）
●伊予牛「絹の味」レアチーズケーキ（50g×1）
●伊予牛「絹の味」ヨーグルト（50g×1）

R-07 8020ヨーグルトセット（賞味）**1,560円**
●8020ヨーグルト（120g×5）
●8020ヨーグルト（120g×5）
●8020ヨーグルト（120g×5）
●8020ヨーグルト（120g×5）

2012 農畜産物消費拡大運動 JAグループ愛媛

らくれんの乳製品は、「チーズケーキセット」や「バラエティーセット」、菌の健康をまもる乳酸菌「L8020菌」を使用した「8020ヨーグルトセット」など4アイテム。

畜産加工品は、伊予牛「絹の味」、「ふれ愛・媛ポーク」の精肉セットが4アイテム、レトルト商品を取りニユーアルしカレー3種セット（新規）に、また、従来の「あらびきウインナー」、「ポークソーセージ」に加え、「豚バラ柔らか角煮」、「焼豚」、「ローストビーフ」を新開発し加工品を6

愛媛県農畜産物の『地産地消』を進めるため、ぜひご賞味ください。上期に実施した『えひめみかん・いよかん混合ジュース愛用運動』では、目標の35万ケースを上回る37万9,043ケースの実績をあげることができました。格別のご協力を賜りありがとうございます。

今回の運動も、J Aグループ一体となって取り組みますので、運動の趣旨をご理解いただき、ご支援・ご協力をお願いいたします。

ご注文・お問い合わせは、最寄りのJ AまたはJ A全農えひめ生活資材課（TEL089-905-2715）までお願いいたします。

「エーコープマーク品40周年記念」 40円の得割クーポンの活用を！

（株）Aコープ
西日本

（株）Aコープ西日本
は、全68店舗（県内14
店舗）で、10月9日か
ら10月31日まで、「A
コープフェア2012」を実施しま
す。

期間中は、エーコープマーク品誕
生40周年を記念して、エーコープマー
ク品の中でも人気の高い40品を対象
に「40円の得割クーポン券」（統一
折込チラシの裏面に掲載）を発行し、

エーコープマーク品の認知度向上と
利用拡大を図ります。また、得割クー
ポン商品1品ご利用につき、1円を
「被災地義援金専用口座」を通じて
被災地に送金し、復興を支援します。
さらに、期間中は昨年に引き続き、
「ふれあいイベント」も開催し、フェ
アを盛り上げていきます。

10月9日から11日までは、「ジャン
ボかぼちゃ重量あてクイズ大会」と
して、お買上げ金額1,000円以上

人気のエーコープマーク品が
得割クーポンのご利用で

40円引

2012年10月9日(木)~10月31日(木)

下記商品は得割クーポン対象商品の一例です。

- （エーコープ）
天然醸造
しょうゆ
（醸造元大塚製薬）
100g
得割クーポンの
ご利用で
40円引
- （エーコープ）
サラダ油
（1000g）
得割クーポンの
ご利用で
40円引
- （エーコープ）
お茶入
もろこし
しょうゆ
（徳島県産）
100g
得割クーポンの
ご利用で
40円引
- （エーコープ）
小麦粉
（強力粉）
1kg
得割クーポンの
ご利用で
40円引

1 エーコープマーク品は国内農産と被災地を応援！
得割クーポン対象商品を1品お買上げ毎に1円を
義援金として被災地へ送ります！

エーコープマーク品と地元で採れた
新鮮な食材をおいしく味わおう
**おすすめメニュー
コンテスト!!**
応募期間10月31日※まで

エーコープマーク品と、「安心・安全」な地域の産品を使った
おすすめのメニューのコンテストです。
ご応募いただいた方の中から審査の上、各賞を決定致します。
※詳しくは店内の応募用紙をご覧ください。

**たまご
つかみどり大会**
参加賞 当日1,000円以上お買上げの方
種の中のピンポン玉をつかんでいただき、
ピンポン玉に書かれた数字の合計数字の
たまごをプレゼント

賞金3,000円分
賞品券14枚
賞金1,000円分
賞品券4枚
賞金500円分
賞品券2枚



のお客様を対象に、重量あてクイズ
を実施。ピタリ賞（Aコープ商品券3、
000円分）各店1本）、ニアピン賞
（同1,000円分）各店5本）、残念
賞（同500円）各店20本以内）な
どの賞品を準備しています。

10月24日には、「たまごつかみ取り
大会」として、当日、お買上金額1、
000円以上のお客様を対象に、箱
の中のピンポン玉をつかんでいただ
き、ピンポン玉に書かれた数のたま
ごをプレゼントします。

また、10月17日には、「全国の駅弁・
空弁まつり」を実施します。フェア
では、北海道の旭川駅「蝦夷わっぱ」

や新千歳空港「北の海鮮鮭」、南は鹿
児島中央駅「極 黒豚めし」や出水
駅「鹿児島櫻島とりめし」まで、全
国各地の選りすぐりの有名駅弁・空
弁20種類を取り揃えます。

Aコープは、国産農畜産物にこだ
わり、地域に密着した店舗運営、「安
心」と「信頼」の提供に取り組んで
います。

今回のフェアは、Aコープ年間最
大の全国統一企画です。ぜひこの機
会に、最寄りのAコープ、そして独
自ブランドであるエーコープマーク
品のご利用をお願いいたします。

Aコープフェア2012 愛媛県内実施14店舗

- ・Aコープいまばり愛彩
- ・Aコープハトマート北条
- ・Aコープハトマート山越
- ・Aコープ城南
- ・Aコープとべ
- ・Aコープいよ
- ・Aコープなかやま
- ・Aコープやわたはま
- ・Aコープみかめ
- ・Aコープのむら
- ・Aコープつしま
- ・Aコープみま
- ・Aコープ吉田
- ・Aコープ松野



農を通じて命を考える

昨年のある朝、いつも通り山裾に広がる田んぼに向いてみてビックリしました。昨日までは青々と並んでいた稲が、泥で汚れ倒れています。一瞬で何があったのかを悟りました。「猪が入ったのだ」。

田舎に住んでいると野生の動物に田畑を荒らされた、という話をよく聞きますが、農業を始める前まではあまり実感がありませんでした。「へー」というくらいなものです。時々見かけるタヌキやウリ坊には愛着すらも感じていました。

ところが、いざ始めてみるとこれが大問題。タヌキやハクビシンは畝を崩したり、ほじくったりとやりたい放題。特に猪は夜な夜な田んぼに入ってきては、大事な稲を踏み荒らします。「猪の入った田んぼの米は、獣の臭いがついてしまい食べられない」、本当かどうかわかりませんが、それくらい農業にとっては迷惑者なのです。

ところで、昔は猪など野生動物の多くは山の奥に住んでいて、人間が住んだり農業を営む里との間には「里山」といわれる手入れされた山々が緩衝

帯としてありました。ところが都市化が進み山間部で過疎化が深刻になってくると、里山の手入れをする人が少なくなり、緩衝帯としての役割を果たさなくなってきました。結果、山々は荒れ、放棄された田畑が広がり、山奥に住んでいた野生動物が人間の側にまで現れるようになったのです。

私が最初に田んぼを始めたところも、このような「放棄された」土地であり、そのため日中でも野生動物を目にします（普通、野生動物は夜行性です）。当初特に気に留めていませんでしたが、初めて荒らされた日以降、どんどん猪が田を荒らすようになりました。大事な田んぼを荒らされるままにしておく訳にはいけません！ というので、お寺で修行をするみんなが夜、見張ることにしたのです。懐中電灯を持って、猪が来ないよう田んぼの見回りを、寝ずの番です。2週間続けましたが、さすがに限界を感じました。犬を連れて行っても犬は吠えもせず寝ていて（なんて情けない犬でしょう…）、人間が朝クタクタになるまで見張る毎日。苦勞をして収穫まで

小山田 憲正

OYAMADA KENSHO

昭和25年生まれ、愛知県名古屋市出身。高野山大学文学部西洋哲学科卒。四国霊場第五十八番札所仙遊寺住職（高野山真言宗）。「四国へんろ道文化」世界遺産化の会 代表世話人。地域づくり研究会「源流」会長。空手教室「創心舎道場」指導者、空手五段。他、民生委員や保護司など、役職多数。平成元年、仙遊寺住職に就任後、「共生」の文化である四国遍路道文化の理解普及に力を注ぐ。修行の場として寺を開放、ひきこもり不登校、悩める者と寝食を共にし、お互いを思いやる遍路文化を実践している。最近はおっぱら畑仕事に熱中、毎日朝から晩まで土いじりに精を出している。
◆仙遊寺 TEL 0898-55-2141 / 今治市玉川町別所甲483 / 宿坊は60名収容、浴場は温泉。バス・トイレ付個室あり。精進料理のみ可（要予約）。

▶かわいくて、さすがに殺生できず、逃がしたウリ坊



こぎつけコンバインを動かした後、修行をする若いみんなは落穂拾いを自然とやり出しました。苦勞をして収穫する喜びを、心から感じたのでしよう。

その後、私は農閑期に狩猟免許をとりました。狩猟免許とは罠や鉄砲を使って狐をするための免許です。さすがに家族の反対で鉄砲の免許はとりませんが、罠の免許は（何十年かぶりの徹夜勉強の甲斐あって？）無事取得できました。以降、罠を使っ

て田畑を荒らす野生動物を減らし、稲や野菜を守るようになりました。電気の通った柵や鉄製の網で田畑を囲む作業も続けました。

「お坊さんが狩猟免許なんて…」と顔をしかめる人もいます。確かに捕まえた野生動物は駆除、つまりは殺してしまいうけです。殺生を禁じている仏様の教えに反しているかもしれないですね。ただ、考えてほしいのです。お米にだって、野菜にだって命はあります。苦しみや痛みを表現できないだけ



▲山奥での開墾作業には油圧ショベルが欠かせない。「だいたいの重機は自分で操れます」

です。稲穂に口があつたら、刈り取られる時「痛い痛い！」と叫ぶでしょう。大根に表情があれば、収穫される時に苦痛を浮かべるに違いありません。

私たち人間は、生きていく上で必ず他の命を頂いています。食卓に並ぶものは全て他の命です。着るものも、住むところも、すべて他の命の上に成り立っています。それだけではありません、移動する時に目に見えない虫を踏み潰しているかもしれない。息をする時、目に見えない虫を吸いこんでしまっているのかもしれない。生きる、ということとは他の命の犠牲の上に成り立っている、ということをもっと自覚しなくてはなりません。私は狩猟を通じてこの自覚をさちつと持ち、全ての命に感謝したいと思っています。

毎朝6時のお勤めの前に私は一人で数十分間、御大師様と向き合います。いろんなことを考えますが、毎回必ず私が殺生してしまった他の命のことを思います。毎度毎度の食事の際には、「いただきます」の声と共に頭が自然と垂れます。農業は、私達が知っている以上に他の命が私達のために犠牲になっている、ということを実感させてくれています。毎日毎日有り難い命を頂いて、私達の命があるのです。

今回は最終回です。ともに農業を営む修行する人たちとの触れ合いを通じて、農業に対する夢をつづりたいと思います。合掌

●「野菜の日」に向けえひめ野菜PR 生産者自らが売り場で自慢の野菜をPR！



8月31日は語呂合わせて「野菜の日」。JA愛媛野菜生産者組織協議会とJA全農えひめは、今年も「野菜の日」を前に、8月25日と26日の2日間、フジグラン松山・重信とエミフルMASAKIの3店舗で「えひめ野菜フェア」を実施し、生産者やJA職員が店頭試食販売を行いながら、えひめ野菜の消費拡大と利用を呼びかけました。

松前町のショッピングモール・エミフルMASAKIでは、8月25日、JA松山市の久万高原ピーマン部会の生産者が店頭に立って、簡

単レシピの試食を交えて、えひめ野菜のキャラクター「乱太郎」のうちわやクリアファイルを配布し、えひめ野菜の利用を呼びかけました。

今回のフェアには、このほかに、JA周桑アスパラガス部会、JA松山市松山長なす部会、JAえひめ中央トマト部会、JAえひめ中央伊予なす部会が参加。生産者自らが売り場に立ってPRする販促活動は、売り場も賑わい、消費者と直接交流や意見交換もできることから好評です。

●エコえひめ農産物市場 試食等を通じてモニターレディが「エコえひめ」をPR！

JA愛媛野菜生産者組織協議会とJA全農えひめは、9月8日と9日の2日間、松山市のフジグラン松山で開催された「エコえひめ農産物市場」に出展し、JA全農えひめモニターレディらが、エコえひめに認定されているトマト・ミニトマト・きゅうりをPRしました。

このイベントは、愛媛県農林水産部ブランド戦略課が、減農薬・減化学肥料で栽培・認証した「エコえひめ農産物」を広く県内消費者にPRし、消費拡大を図ろうと企画したもの。

JA愛媛野菜生産者組織協議会のブースでは、簡単レシピ「トマトと玉ねぎの旨々和え」の試食や乱太郎グッズの配布が人気を集め、用意した商品は2日間とも完売しました。

消費者からは、「エコえひめは農薬を何%カットしているの？」等の質問がモニターレディに

も寄せられるなど、安全・安心な農産物に対する関心が高い中、こうしたイベントを通じて、徐々に「エコえひめ」の認知度は向上しているようでした。



●平成24年産栗出荷会議

市場出荷610tの販売方針を決定

J A全農えひめ青果販売課は、8月22日、松山市のJ A愛媛で平成24年産栗出荷会議を開催しました。会議には、愛媛県くり研究同志会役員と主産地4 J Aの担当者、京阪神・松山の市場関係者が出席。生産概況を確認し、販売方針と消費宣伝計画を決めました。

24年産の栗は、年明けから春先まで平年を下回る気温で推移したため、発芽は3～5日程度遅れたものの、4月中旬以降は気温が高めで推移したため、開花は平年並～3日程度の遅れに回復。着穂数は、品種や園地のバラツキはあるものの、平年並からやや多めと予想され、肥大もおおむね良好と見られています。

24年産の県内主産地4 J A（J A愛媛たいき、J Aえひめ中央、J Aひがしうわ、J Aえひめ南）の栽培面積は2,185ha（前年比99%）、生産量は1,100 t（同124%）、出荷量1,085 t（同124%）のうち市場出荷は610 t（同139%）を計画しています。

24年産販売方針では、① J A間相互協力による重点市場への計画的安定出荷、② 選果・選別

の徹底と品質向上、③産地・消費地情報の確かな把握と情報の交換、④消費宣伝の実施による需要の拡大、⑤9月下旬と10月上旬の休日出荷対応、等の取り組みを決めました。

消費宣伝では、パンフレットや短冊を活用し季節感を前面に打ち出した店頭試食宣伝により、「愛媛の栗」の知名度アップを図ります。

なお、愛媛県の平成23年産収穫量は、1,580 tで、全国第3位の生産量（全国シェア8.3%）となっています。



●2012愛媛みかん大使基礎研修

産地視察等研修経験を消費宣伝活動で活かします！

2012愛媛みかん大使の4人が、活動デビューを前に、9月5日、(株)えひめ飲料会議室で、接客サービス・マナー、柑橘の基礎知識等の研修を行いました。

9月10日には、松山市中央卸売市場、J Aえひめ中央伊予選果場、J Aにしうわ川上地区のみかん園、松山市のJ A全農えひめ開発センターを視察。2日間の研修を通じて、愛媛の柑橘の品種・特徴、産地の状況、栽培の状況・苦勞、収穫後の流通の流れなどを学習しました。

事務局のJ A全農えひめ青果販売課では、「こうした研修によって、消費者に届くまでの大変さ、農家の想いや苦勞なども十分認識してくれたと思うし、本番のPR活動に活かしてほしい」と期待を寄せています。

なお、2012愛媛みかん大使4名は、9月22日と23日エミフルMASAKIのイベントに参加。10月16日の愛媛県園芸大会で生産者の皆さんにお披露目します。



●愛媛県民間流通地方連絡協議会

実需者ニーズに対応し、作付拡大・安定供給体制確立を！

J A全農えひめ食糧生産課は、9月3日、愛媛県産麦の円滑な流通をめざし、J A愛媛で愛媛県民間流通地方連絡協議会を開きました。会議には、県内外の精麦や醤油・味噌関連の会社・組合など実需者と生産者・J A・県関係者ら50人が出席。はだか麦と小麦について、平成24年産の販売見込数量や25年産の販売予定数量を確認するとともに、実需者との意見交換を行いました。

24年産はだか麦は、播種期の降雨による発芽不良など湿害に加え、生育初中期の低温の影響もあり、収穫量が大幅に減少。販売見込数量は、当初販売予定数量5,505トンから3割以上少ない3,747トンにとどまりました。品質面では、収穫期の天候に恵まれたことで、1等比率は約90%と前年産から大幅に改善しました。

平成25年産はだか麦の購入希望数量（全国）は17,549トンで、依然として販売予定数量（全国=13,125トン）を4,424トン上回っているものの、はだか麦の販売量が不安定なため代替品種への振り替えが進んでおり、その差は年々縮小してきています。

愛媛県産については、作柄不良が続き農家の作付け意欲が減退しているため、作付面積が前年より60ha減少し1,580ha。購入希望数量は6,681トン、販売予定数量は5,226トンで購入希望が1,455トン上回っており、1,700haを目標に、関係機関が連携し、さらなる作付振興を呼びかけることとしています。

会議では、実需者から、「引き続き安全・安心で高品質な麦を安定的に供給して欲しい」といった要望に対して、産地側からは、有望新品種「ハルヒメボシ」や「ユメサキボシ」導入の考え方や品種の紹介を行いました。



●平成24年産里芋・山の芋出荷協議会

24年産里芋は面積・出荷量とも前年から大幅増を見込む

J A愛媛野菜生産者組織協議会とJ A全農えひめ青果販売課は、9月4日、J Aうま総合経済センターで、平成24年産里芋・山の芋出荷協議会を開きました。

サトイモは、「伊予美人」としての出荷が今年で7年目を迎え、ブランドイメージも徐々に定着しており、24年産は東予地区を中心に新規作付け拡大が進んだことで、面積は前年比111%の94.8ha、出荷量は前年比124%の2,175トンと大幅な増加を見込んでいます。

販売基本方針では、①生産出荷計画に基づく安定供給、②企画販売の取り組みの拡充、③「伊予美人」ブランドの消費宣伝活動の強化に取り組むことを確認しました。

9月12日には、県内最大産地のJ Aうまで24年産サトイモの初出荷が行われ、旬の素材ということで、県内全テレビ局のほか多くの新聞社から取材がありました。今年産は定植期の降

雨による植え付け作業の遅れ、5月の干ばつ等により出荷スタート時点では若干小玉傾向ですが、10月になれば肥大も追いついてくる見込みです。

山の芋は、面積14.2ha（前年比87%）、共販売量は132トン（前年比100%）の出荷を見込んでいます。



●第37回愛媛県JA-SSドライブウェイサービスコンテスト 最優秀賞に岡本さん・横田さん

「第37回愛媛県JA-SSドライブウェイサービスコンテスト」が、9月9日、JAえひめ中央小田SSで開かれ、最優秀賞には、フルSSの部で岡本章宏さん（JA愛媛たいきサンライズ56SS）、今年新設されたセルフSSの部では横田浩一さん（JAえひめ中央伊予セルフSS）が選ばれました。

同コンテストは、愛媛県JA-SSチェーン本部が、利用者に愛され信頼されるJA-SSづくりと従業員の接客・点検技術など能力向上をめざし毎年開いています。

今回から、運営形態の多様化に対応するため、セルフSSの部を新設。フルSSの部には、7SSから8選手、セルフSSの部には9SSから9選手が出場。模擬客を相手に、接客サービスの内容、ユーザー印象度などの総合得点で順位が決まりました。

最優秀賞の岡本さんは、「1ヶ月ほど前から練習した成果が出てよかった。日々満足していただけるサービスを提供していきたい」と意気込みを話していました。セルフの部は今回初開催ということで、各所長が参加し高レベルの接

戦となりました。最優秀の横田さんは、「この経験をSS全体に浸透させて、サービスレベル向上につなげたい」と話していました。

優秀賞受賞者は次のとおり（敬称略。カッコ内はSS名）

【フルSSの部】久保建拓（JA愛媛たいきオズメッセセルフSS）、田中幹士（JAえひめ中央荏原SS）、松田岳人（株）JA東宇和サービス野村中央SS）【セルフSSの部】大野知秀（JA愛媛たいき長浜セルフSS）、福栴真嗣（同オズメッセセルフSS）



▲左から、岡本さん、横田さん

●JA愛媛LPガス事業ふれあいトークコンテスト 山田耕治さん（株）JA東宇和サービス）が優勝

「第3回JA愛媛LPガス事業ふれあいトークコンテスト」が、9月19日、松前町のJA全農えひめ農業技術センターで開かれ、山田耕治さん（株）JA東宇和サービス）が優勝しました。

同コンテストは、JA愛媛LPガス事業運営協議会が、JAのガス担当者による訪問・ふれあい活動のレベルアップを図ろうと開かれており、今年が3回目。

今回は、県内8JAから9人が出場。模擬客を相手に、訪問からガスコンロの点検、環境と家計にやさしい新製品「エコジョーズ」の提案までを行い、説明の分かりやすさ、接客の態度やスムーズな会話・流れになっているかなどの総合得点で順位が決まりました。

優勝した山田さんは、「この経験を日常業務に活かし、お客様目線の対応で、信頼され喜ばれるよう頑張りたい」と今後の抱負と意気込みを話していました。

同協議会では、「3年間開催した中で、今回は最もレベルが高かった。ガス事業は、JA経

済事業の柱の1つ。その重要性を認識し、担当者がお客様の困っていることや悩みに対応し、より信頼される事業をめざしたい」と話しています。

その他の入賞者は次の皆さん（敬称略・カッコ内はJA名）

▽準優勝＝伊井孝彦（新居浜市）▽3位＝秦和宏（うま）▽敢闘賞＝佐川真治（愛媛たいき）▽努力賞＝渡部浩二（えひめ中央）



▲左から、渡部さん、伊井さん、山田さん、秦さん、佐川さん

なんでもBOX

●「いよっころ」親子農業体験ツアー 収穫&ふれあい体験を楽しむ

食農教育活動に力を入れている、JAえひめアイパックス(株)ファーマーズマーケット「いよっころ」運営協力会は、8月27日、親子農業体験ツアーを実施しました。

参加した伊予市近郊の親子12組・36人は、元気いっぱい大根や梨の収穫、牛とのふれあいを通じて「食」と「農」への理解を深めました。

標高1,000mを超える四国カルスト・西予市野村町大野ヶ原では、降雨の影響もあって真夏にもかかわらず気温は20℃以下、半袖では肌寒い中で、特産の「大野ヶ原大根」の収穫を楽しみました。

西予市城川町の関平畜産では、子牛から出荷までの一連の流れを見学。日ごろ接することのない牛とのふれあいを楽しんだほか、伊予市中

山町の松浦梨園では、梨を収穫。さっそく試食した児童らは「甘くて美味しい」と喜んでいました。



●イベント情報

10/27 南予で開催! 「体験・旬の味覚フェア」

JAえひめ南は、南予地方で開催中の「えひめ南予いやし博2012」に合わせて、10月27日、地域の旬の味覚をご家族と一緒に楽しめるイベント「体験・旬の味覚フェア」を開催します。

【とき】10月27日(土) 午前9時～午後3時

【ところ】道の駅・みなとオアシス「きさいや広場」

宇和島市弁天町1-1318-16

(電話) 0895 (22) 3934

【内容】会場では、早生みかんはじめ旬の農産物のつま放題ほか、無料で楽しめる野菜釣り大会や神経すいじゃくゲーム、もちつき体験、しぼりたてミカンジュースの無料試飲など、ご家族一緒に楽しめる催しが満載。当日は「愛媛みかん大使」も来場し、イベントを盛り上げます。

また、宇和島市内商店街「きさいやロード」では「全国井サミット」も同時開催されているので、あわせてお楽しみください。

JAうまがビアガーデンで旬のサトイモ「伊予美人」をPR!

サトイモ「伊予美人」の県内最大の産地JAうまは、特産の「伊予美人」の美味しさのPRと認知度向上を図ろうと、試食宣伝等各種PR活動に取り組んでいます。

8月31日には、リジュール松山・屋上ビアガーデンに、出荷シーズンを前に収穫した「伊予美人」30kgを持ち込んで、JA職員が「いも炊き」400食を振る舞い、サトイモ「伊予美人」のシーズン到来をアピールしました。

試食した方は、「軟らかく粘りがあり美味しい」と、秋の味覚に大満足の様子でした。



●WCBF少年野球教室新居浜教室

元プロ野球選手のわかりやすい指導に大満足！

WCBF（財団法人世界少年野球推進財団・王貞治理事長）が主催する「JA全農WCBF少年野球教室」が、西崎幸広さん（日本ハムOB）など元プロ野球の名選手4人を講師に迎え、9月8日、新居浜市市営野球場で開かれました。

同教室には、新居浜市内の中学校10チームから166人が参加。西崎さんのほか、市川和正さん（横浜OB）、水上善雄さん（ロッテOB）、屋鋪要さん（巨人OB）が、ベースランニングやリードのとり方、ボールの握り方や投げ方、捕り方と捕球してからの動作、バッティングの基本技術とコツを指導しました。

子どもたちは、「声を出して」「元気良く」「うまくできたよ」という励ましを受けながら、「相手ピッチャーから目を離すな」「スピードを落とさないでベースランニングを」「しっかり振り切って」「下半身をしっかりと使って」など分かりやすい元プロ野球選手のアドバイスを真剣に聞いていました。

西崎さんから直接ピッチングの指導を受けた中萩中2年の藤田友輝君は、「投げる時は振りを大きくなど、わかりやすく教えてもらい良かった。練習を続けてフォームを固めていきたい」と笑顔を見せていました。

同教室は、JA全農が子どもたちの健やかな心身の成長と未来の夢を応援するため特別協賛し、全国の野球を愛する小・中学生と少年野球指導者を対象に開催しています。愛媛県では平成17年の大洲教室以来、2回目の開催。

また、球場に隣接する公民館では、監督を対象にケガ予防のためのトレーニング方や指導方法を教える「指導者講習会」、スポーツを行っている子どもの保護者を対象にした「栄養学教室」も開かれ、わかりやすい説明が好評でした。

教室終了後、西崎さん、市川さん、屋鋪さんの3人は、JA事業への理解を深めようと、松山市のJAえひめ中央農産物直販所「太陽市」を訪問。乗松淳二店長から説明を受けながら店内を視察し、豊富な農産物に驚きながら、「立派な施設。近くになれば」などと話していました。



●JAグループ愛媛と愛媛MP相互協力協定調印

スポーツ文化や地域貢献で協力！

JA愛媛中央会・JA全農えひめなどJAグループ愛媛は、9月12日松山市のJA愛媛で、四国アイランドリーグplusの愛媛マンダリンパイレーツ（愛媛MP）と相互協力協定「JAMP（ジャンプ協定）」を締結しました。

これは、JAグループと愛媛MPが、お互いの特性を生かして、新しいスポーツ文化創造への支援、地域の活性化と地域貢献活動への協賛、後援会への加入促進等に連携・協力して取り組もうというもの。愛媛MPからは、引退後の就職に困る選手も多い中で、セカンドキャリアへのJAグループのバックアップに大きな期待が寄せられていました。

調印式では、JAグループを代表してJA愛媛中央会の林正照会長が、「愛媛MPの活動に共感し、地域の活性化に向け絆をいっそう深めた

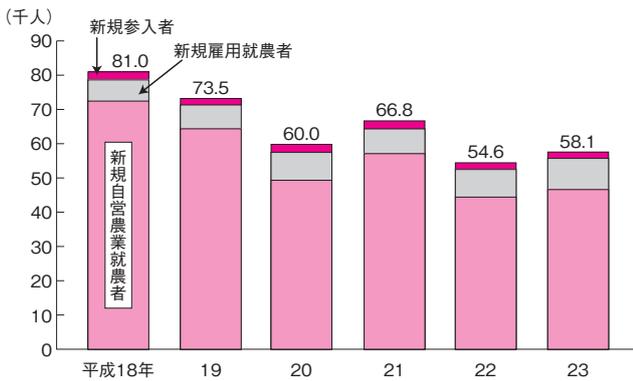


い」とあいさつ。同球団の薬師神績社長は、「地域密着を合言葉に取り組んできたが、JAとの協定により県民球団として新たなページをむかえることができた」と話し、お互いがユニフォームを交換。JAグループの農産物を記念品として選手に贈呈したほか、関係者で記念撮影を行いました。

統計BOX

新規就農者は全国で5万8,120人 — 平成23年新規就農者調査結果の概要から —

図1 新規就農者数の推移



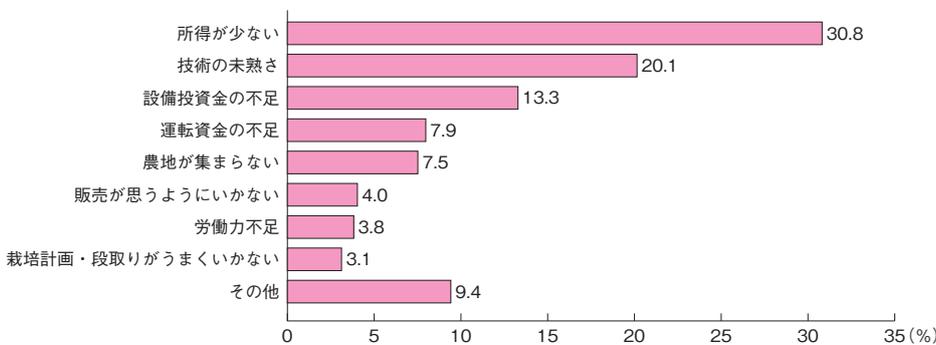
資料：農林水産省「平成23年新規就農者調査結果の概要」(平成24年8月28日公表)

新規就農者は前年より増加

平成23年の新規就農者は5万8,120人で、前年に比べ3,550人(6.5%)増加しました。就農形態別にみると、自営農業就農者は4万7,100人で、2,300人

農業就業人口の減少と高齢化が進む中、食料の安定供給を確保し、農業の持続的な発展を図っていくためには、新規就農者の確保が重要です。そこで、今月は将来日本の農業を担う新規就農者について見ていきます。

図2 新規参入者が参入後1～2年目に経営面で困っていること(1位)



資料：全国農業会議所「新規就農者(新規参入者)の就農実態に関する調査結果」(平成22(2010)年11月実施)
注：1) 就農後おおむね10年以内の農業外からの新規就農者を対象としたアンケート調査(有効回答数1,517)
2) 参入後1～2年目の新規参入者が経営面で困っていることとして1位にあげた項目

(5.1%)増加しました。また、農業法人等に新たに雇用された雇用就農者は8,920人で、880人(10.9%)、土地や資金を独自に調達し、新たに農業経営を開始した新規参入者は2,100人で、370人(21.4%)それぞれ増加しました(図1)。

新規就農者には 様々な支援策が必要

新規就農者を年齢別にみると、39歳以下は1万4,220人で1,070人(8.1%)増加したものの、40～59歳は1万2,610人で1,360人(9.7%)減少し、60歳以上は3万1,290人で3,850人(14.0%)増加しました。

全国農業会議所が、平成22年11月に新規就農者(新規参入者)を対象に行ったアンケート調査によると、就農後1～2年目の間に経営面で最も困っていることは、「所得が少ない」が31%と最も多く、「技術の未熟さ」20%、「設備投資金の不足」13%など、所得の確保や技術の向上が課題となっています(図2)。農林水産省では、そうした就農時の悩み・不安を解消し、安心して農業を始めていただけるよう、24年度より新たに新規就農総合支援事業として就農の準備段階から経営を開始した後の就農初期段階まで、新規就農者を総合的にサポートしています。

中国四国農政局
松山地域センター 農政推進グループ



インフォメーション

彩菜 今治店

- TEL/0898-32-3551
- 営/9:00~19:00
- 休/無休(1月1日・2日は除く)
- 住/今治市別宮町9-1-27 Aコープいまばり愛彩店 内
- URL/なし

彩菜 今治店 ~JAおちいまばり~

旬野菜を体にとりこむ、ナチュラルで理にかなった健康生活の一端を担う



彩菜のことなら、
なんでもおまかせあれ!

巻幡 加津子さん
(彩菜 今治店 主任)

「農産物の一番おいしい状態を必要量だけ買っていき、台所の延長の直売所であり続けたいと願っています。充実の切り花コーナーではオミナエシやススキ、珍しい赤米など、秋の装いでお待ちしております」

平成12年11月にJAおちいまばりの農産物直売所として生まれた「彩菜今治店」は、今や県内外からも広く知られている大型直売所「さいさいきて屋」本店の元祖ともいえる店舗です。12年間の時代の流れの中で、吹きさらしの店舗やスーパーのインショップなど、流動的に形を変えながらも生産者の朝採れ野菜と個性のある加工品のみを販売する直売所本来の姿は変わることなく、地元の人々にずっと愛され続けています。

現在はAコープいまばり愛彩の一角約100㎡のスペースに、JAおちいまばり管内陸地部の出荷会員約1、200人による野菜の出荷は量も品数も多く、2億円以上の年間売り上げを維持しています。

「さいさいきて屋」の
原点は「彩菜」にあり



▲Aコープいまばり愛彩店と内部からも行き来できる彩菜今治店



▲開店一番の混雑から一段落した店内風景。上下2段、ずらりと並ぶコンテナ群

イベントカレンダー

11月第3土曜日 創業イベント(餡餅プレゼント)



【ピンポイントmap】

品

うちの田畑からとれたパンです

あん・ジャム・クリームパン…毎週木曜日には焼きたてパン10種以上が並びます。もちりとした食感は自家米の米粉80%のなせる技。米は大阪で製粉するという、納得のいく挽き方にこだわっています。おかずパンのカボチャやサツマイモは自家野菜、ジャムパンのブルーベリー・はれひめ・イチジクは手づくりです。ヒジキや漬物入りというミスマッチ感も米粉パンなら難なくクリア。トースターで温めると、できたてがよみがえります。



▲「本日もおいしいパンが焼きました!」。米粉パングループ代表の渡部千代さん

純度100% 今治産

「彩菜 今治店」がにぎわう秘密は、狭さにあります。開店一番のコンテナから、店舗からもあふれんばかりの農産物群がひしめきあう充実ぶりは圧巻ながら、歩き回って疲れない広さは、商品の比較も目当ての品を見つげるにも効率的です。出荷の中心は旬の野菜ですが、生産者は一つの畑で多品目をつくっているケースも珍しくなく、内部が鮮やかな紅色の紅心大根や日野菜かぶ、年が明ければ

オータムポエムや菊芋など、珍しい野菜を見つげる面白味もあります。女性スタッフ5名が切り盛りする店の1日は、開店前のあわただしくも厳しい目を光らせる全商品チェックにはじまりません。生産者とお客様への温もりのある声かけ、いろんな質問に答えられる知識の修得と共有、出荷量の多い野菜のレシビづくりなど、女性ならではの豊かな感性と気配りで、親しみやすさとワクワク感のある店舗づくりを目指しています。



▲或る生産者のコンテナ。♪～中をのぞいて見てごらん♪カボチャ、トマト、マクワウリ、玄米餅まで。生産者の人物像に思いをはせてみるのも、また楽しい



▲充実の寿司やおかずも屋前にあつという間になくなっていく



▲切り花コーナーも充実のポリウム



▲梨、各種出揃っています



▲今治・鳥生産のレンコンも健在



◀イチジクの種類、パナーネは、外皮は青くても激甘



▲店舗前はシキビ・ロード



吉満 早苗さん
(彩菜 今治店 スタッフ)

「彩菜が「元気」なのは、新鮮な野菜を出荷してくれて、おいしいお弁当や総菜をつくってくれる生産者のおかげ様。私たちは「笑顔がいいね」と声をかけてくれるお客様の笑顔にいつも「元気」をもらっています」

品 家族の愛情いっぱい、ご飯です

屋食弁当を買う息子さんの「母さんの手づくりの方がおいしいけん、出してみたら」の一言ではじまった母親譲りのちらし寿司はやさしい甘みに、具材たっぷり田舎寿司。「錦糸づくりも毎日卵100個となると腱鞘炎になり、ミキサーで混ぜるアイデアがひらめきました。忙しくしていると主人が野菜切りやバック詰めを手伝ってくれるようになりました」。なんともポジティブなご夫婦です。隠し味は米も鯛もひと味違ってまるやかに仕上がる特注ミネラル塩。ヒ

ジキは食べ比べて大角（波方町）産を契約するなど、地元産のさらにワンランク上を行くおいしさです。



◀板崎百合江さんの錦糸卵がたっぷりのちらし寿司とヒジキ飯。鯛飯も絶品



【広域map】



● 農の風景「きゅうり」を読んで。夏、暑すぎず食欲のわかない時もきゅうりなら。みずみずしくて、クセもなくさっぱりと食べられるので、不思議です。酢の物、もろきゅう、冷麺：コーナーの写真にずらりと並ぶきゅうりを見て、圧巻でした。

● JAグリーンえひめがリニューアルしたとのこと。量り売りやオーダーカットができるということなので、楽しみます。週末の各種イベントでは、どんなことをしているのでしょうか？家から近いので出かけてみます。

(松山市・永井 文江さん)

● ふるさとエッセーを読んで。松山から主人の実家・伊方町に嫁いで3年目になりました。長男が誕生し、子育てで忙しい日々を過ごしています。実家の祖父母・両親もみかんをたくさん作っています。私も余裕ができたらおいしい西宇和みかん作りを手伝いたいと思っています。

● 子育ての時間の余裕ができたなら、家の畑で野菜を作ってみたいと思います。春夏秋冬4回程度の家庭菜園特集（素人対象）があったらうれしです。

(伊方町・松本 美香さん)

● 特集で紹介された「ふれ愛・媛ポーク」大好きです。だから太ってます。今年暑いですね。こんな時には氷を使った催しなどを、さいさいしてほしいです。

(八幡浜市・田上 満代さん)

● ブドウは好きでも干しぶどうが嫌いな人って多いですね。うちの父もそうです。料理コーナーのぶどう料理、サンドイッチに干しぶどうが入っていますが、クリームチーズとサンドするなんて、最高に美味しそうです。もうすぐして、ぶどうが手に入ったら、父にこっそりと干しぶどうも入れて出してみようと思います。

● 今まで気が向いたときに宝くじを買っていましたが、3000円以外は当たったことがありませんでした。が、今回初めて1万円が当たりました。番号を確認した瞬間信じられませんでした。が、引き換えに行った時、窓口の方に「おめでとうございます」と言われ、実感してうれしかったです。今後もぼちぼち買って、3億円を目指

します(笑)。

(西条市・竹中 由香里さん)

● 私の娘も愛媛調理製菓専門学校でべんきょうさせていただきました。美味しそうな料理を見て。娘に言って一緒に作ってみたいなと思います。また、美味しい料理を教えてください。よろしくお願いします。

お家でもできる簡単野菜づくりなど：取上げてください。

(松山市・松本 興八さん)

● 中古農機の情報等がわかるリストを載せて欲しい。

(伊予市・亀田 均さん)

★編集部より：中古農機の在庫状況は、日々変動するため、広報誌での掲載は難しい点をご了承ください。中古農機の情報は、最寄りのJAにお問い合わせください。

【訂正とおわび】

9月号18ページの「直売所めぐり～ときめき水都市武丈店」の中で、下記のとおり誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

①タイトル

(誤)「ウソか、マコトか！温泉つきの直売所？」

(正)「温泉に隣接する直売所」

②本文7行目～

(誤)～それというも温泉開館前にお買いもの、買った商品はレジに預けて、入浴後にもう一度立ち寄り商品引き取り、買い忘れていればさらにお買いあげ…～

(正)～それというも温泉開館前にお買いもの、入浴後にもう一度立ち寄り、買い忘れていればさらにお買い上げ…～

③高橋玄樹さんのコメント

(正)「西条産の野菜の旨味が詰まったさっぱり味と、米粉のクリーミーさとホワイトペッパーのピリッが絶妙なバランスの、オリジナルドレッシングです。他に、さわやかな酸味とキウイのほのかな甘さが香る「赤いキウイのドレッシング」もあります」

今月のクイズ

JA全農は、エコーマーク品の宅配システムを導入しました。10月から始まったこの事業方式の名称は？

「JA○○○○の宅配便」

プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を10名様にさしあげます。

応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。

締切り

平成24年11月17日(当日消印有効)

発表

「あぐり〜ど」12月号で発表します。

当選者発表

8月号の答えは「あんしん」でした。たくさんのお便りありがとうございました。厳正な抽選の結果、次の10の方に図書カード1,000円分をお送りします。

- 阿部 節男さん(今治市) 三森 恵子さん(上島町)
- 松本 美香さん(八幡浜市) 谷崎 博子さん(西条市)
- 村越久美子さん(今治市) 曾根知佐土さん(四国中央市)
- 川上 彩香さん(四国中央市) 古谷 紗弓さん(宇和島市)
- 渡部美保子さん(今治市) 藤田亜紀子さん(今治市)

編集後記

★新居浜市で開催された「JA全農WCBF少年野球教室」では、生徒の指導者から、「元プロ野球選手の言葉は、とても影響力があり、子どもにも残ったと思う」「褒めてもらったり、ポイントを押さえた指導で子どものやる気につながった」との声が寄せられていました。そういえば、褒められるたびに、「風を切る球の音」が変わっていたような…。元プロ名選手の熱血指導に目を輝かせていた子どもたちの成長が楽しみです。(正直)

今月の素材
カブ



上品な甘みに、きめ細やかな白い肌
栄養素が豊かな葉も有効利用を!

▶(手前)メンチカブ、(右)カブと豚バラ肉のスープ、(左)温カブ
サラダ・アイオリソース



指導/学校法人愛媛学園 (愛媛調理製菓専門学校) 大西 望先生

温カブサラダ・アイオリソース

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約200kcal	
カブ	4個
水	4カップ
① コンソメキューブ	1個
バター	20g
塩	小さじ1
〔アイオリソース〕	
ニンニク	1/2片
黒コショウ	小さじ1/2
卵黄	1個分
オリーブオイル	1/2カップ
レモン汁	1/4個分
塩	小さじ1/2

〈作り方〉

- ① カブは葉の根元を少々残して切り、4等分に切る。
- ② ①と④を火にかけ、沸けば10分ほど弱火で煮る。
- ③ アイオリソースをつくる。皮をとってつぶしたニンニク、黒コショウ、卵黄、オリーブオイルをフードプロセッサーにかけ、レモン汁と塩を加える。
- ④ 皿に②を盛りつけ、③をかける。

カブと豚バラ肉のスープ

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約199kcal	
カブ	4個
豚バラ肉(薄切り)	120g
水	5カップ
① 鶏ガラスープの素	小さじ2
昆布	3cm角
酒	1/2カップ
味噌	大さじ3
牛乳	大さじ4

〈作り方〉

- ① カブは皮ごと半分切る。葉はざく切りにする。
- ② 鍋に①とカブを入れ、沸けば豚肉を加え、アクをとりながら30分ほど煮込む。
- ③ カブが柔らかくなれば、味噌と牛乳を入れて仕上げる。①の葉を加えて出来上がり。

メンチカブ

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約374kcal	
合挽肉	300g
玉ねぎ	120g
カブ	120g
卵	1個
① 塩	小さじ1/2
砂糖	小さじ1
コショウ	少々
小麦粉	30g
卵	1個
パン粉	40g
揚げ油	適量
葉野菜(水菜など)	適量

〈作り方〉

- ① 合挽肉をよくこね、①を加える。さらに、みじん切りにした玉ねぎ、カブ、カブの葉も加える。
- ② ①を小判形に成形し、小麦粉、溶き卵、パン粉の順につけていく。
- ③ ②を170℃の油で揚げる。
- ④ ③を皿に盛り、葉野菜などを添える。

のんで!のぞいて!
旬のみかんを搾ったジュースプレゼント!

応募期間

2012

12月31日

月

まで



【対象商品】
・ポンジュース 1L ペットボトル
・ポンジュース 500ml ペットボトル



ラッキーウィンドウ
「当たり」が出たら
必ずもらえる!

※キャンペーン商品は9月初旬頃より販売予定です

当たりが出たら 当たった!!

5,000名様に当たる!!

POM 愛媛みかん 旬ストレート100 (1Lペットボトル/6本入)

キャンペーン情報はこちらから

えひめ飲料 ホームページ

<http://www.ehime-inryo.co.jp>



JA全農えひめ/JA全農グループ
新鮮で安全・健やかな食文化の創造と消費者のネットワーク!

えひめの食
まいにちが、ごちそう産

まんぼうフェスティバル

in えひめ 2012

生産者と農作物と子どもたちを結ぶイベントいっぱい!

秋の味覚 濃縮!!

家族みんなが遊びにきてね!!

試食コーナーもあつよ!!

おひししし

初めての体験! うれしいなっ!!

農の体験コーナー (案)

- ★大型農機の体験
- ★寄せ植え体験
- ★家庭園芸コーナー
- ★段ボールコーナー

どれにチャレンジしようかなっ!!

食の体験コーナー (案)

- ★うどんづくり
- ★バターづくり
- ★ソーセージづくり
- ★だんごづくり
- ★おにぎりづくり
- ★いもたき体験
- ★餅つき体験
- ★POMジュース蛇口

入場無料

2012. 11/3 土

時間 / **10:00~15:30** ※雨天決行
9:40~ オープニングセレモニー

会場 / **アイテムえひめ**
松山市大可賀2丁目1番28号

特命戦隊 ゴーバスターズ ショー 観覧無料!

日時 **11月3日(土)**
[1回目] 11時~予定
[2回目] 14時~予定

会場 **1F センターコート**

VEGETABLE OIL INK
環境に配慮した植物油インキを使用しています。



この冊子は再生紙を使用しています。